

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第1号 ～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

本校は平成28年4月に開校し、7年目に入りました。卒業生の皆さんも今春4回生が巣立ち、本校から大学に進んだ教員志望の1回生が、本校での教育実習を受けに戻ってきます。また、就職し、技能五輪（原則23歳以下を対象に、技能競技を通じ、技能尊重機運の醸成等に資することを目的として実施する大会）でメダルを獲得するような生徒もでてきました。

本校は専門学科（工業科）ですが、就職を主体とする学校ではありません。実際に卒業生は、進学者半数、就職者半数で、若干進学者が増えてきている状況です。

なぜ、本校が大学進学も目指すのか。その理由の一つは、「テクノロジスト」の育成を目指しているからです。本校が考える「テクノロジスト」とは、高度な知識、論理的な思考に基づいた『技術』とものづくりを創造的に行うことのできる『技能』の両方を身に付けた人材で、これからのAI時代を知識と技術・技能で主体的に生き抜くことができる人であると考えています。そのような研究者や技術者、起業家を目指すためには、「大学での学びは不可欠」だと考えます。実際に、卒業生の頑張りや本校の先生方の寄り添いなどにより、京都大学・名古屋大学・名古屋工業大学などの国公立大学に進学しており、普通科高校にも負けられないような実績を出しています。

一方、労働人口が減少する中で、高校卒業後からの就職が脚光を浴びています。本校の就職については、大手企業への就職者が多いことはもちろんですが、より職種にこだわった「技術職での就職」を目指しています。本校で学んだ生徒は、普通科を卒業された生徒の皆さんより、確実に技術・技能を身に付けているので、どちらが企業人として重要視されるかは一目瞭然です。実際に、今年度、自動車メーカーに生産関係職で就職したAさんは研究所へ配属されたり、Bさんは愛知県で初めて高校生として同社の技術職に採用されたりなど、大学を卒業した方々とともに活躍できる職場に配属されています。

このように本校は、将来を先延ばしにするのではなくて、主体的に「進学か就職」を選択でき、どちらも目指すことができる学校として日々成長しています。本校に入学した生徒の皆さんも自分を変革し成長し続けています。

そこで、中学生の皆さんに「愛知総合工科高校」を知っていただくために、不定期ではありますが、本校の先生方から、思いや考えを中学生の皆さんに発信させていただきます。ぜひ皆さんの成長に生かしていただきたいと思います。また、中学生の皆さんを応援するチャンネルの一つとなれたら良いとも考えています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

自分の能力を高めて変化を楽しむ、困難を楽しむ。新しい時代を迎える今、あなたも新しい自分に出会いたいと思いませんか。そんな中学生の皆さんを本校は応援します。私たちは日々信頼される学校になれるよう動き出します。次につながる何かを生み出すためにも、私も自分を変え努力していきます。一緒に頑張りましょう。

このメッセージをご覧になった中学生の皆さんが幸せに近づきますように。

（令和4年5月10日 愛知総合工科高校 山口直人）